

株主通信

第97期 第2 四半期

(2022年4月1日～2022年9月30日)

JANOME

証券コード：6445

株式会社ジャノメ



株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第97期第2四半期(2022年4月1日から2022年9月30日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におきましては、ウィズコロナの生活様式が定着し、行動制限の緩和が個人消費を推し進め、世界経済は緩やかな回復傾向となりました。しかしながら、ロシア・ウクライナ情勢に起因する資源価格や原材料の高騰はおさまらず、さらには、各国でインフレ抑制のため金融引締めが進み、景気の下振れリスクの高まりや経済回復の停滞などが懸念されます。

このような中、当社グループにおきましては、エネルギー価格の上昇に伴う原材料等の高騰、部品調達難の長期化により、製品供給体制への影響が解消されないなど厳しい状況が続いております。また、国内での訪問販売事業撤退に伴い、事業再編損を計上いたしました。

この結果、当第2四半期の売上高は19,675百万円(前年同期比1,549百万円減)、営業利益は661百万円(前年同期比1,147百万円減)、経常利益は1,186百万円(前年同期比609百万円減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は816百万円(前年同期は、1,167百万円の利益)となりました。

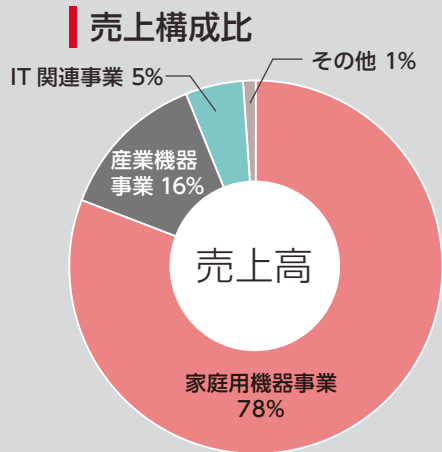
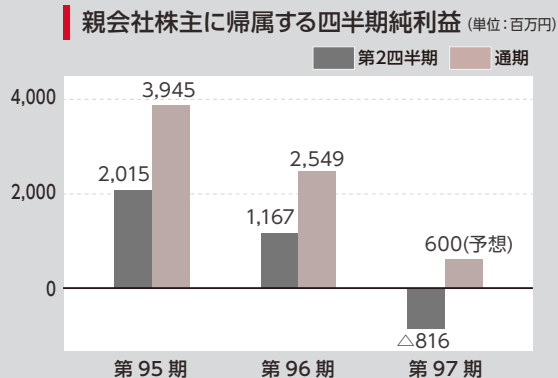
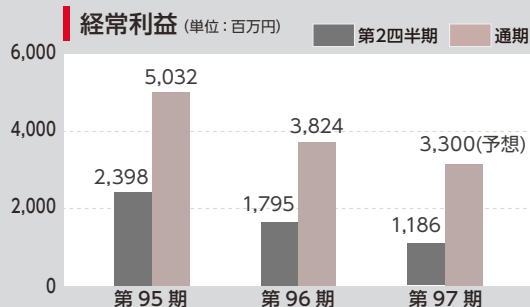
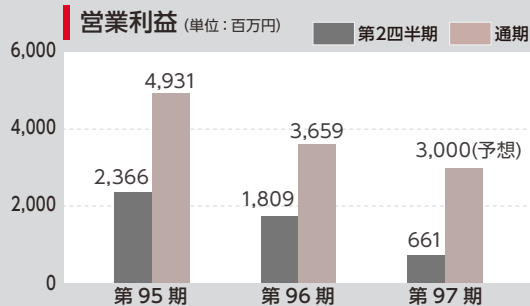
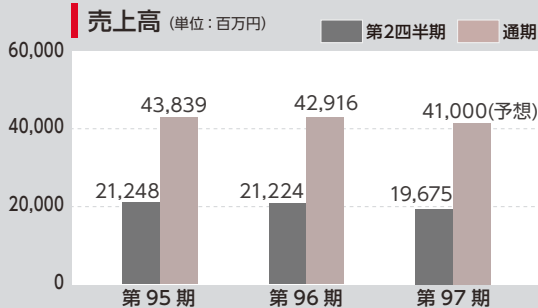
当社グループは、今後ともみなさまからいただいた信頼を糧に、長期的ビジョンに立った持続的成長を図りつつ、収益力の高いグローバル企業を目指し、継続的な企業価値向上に向け努力してまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 齋藤 真

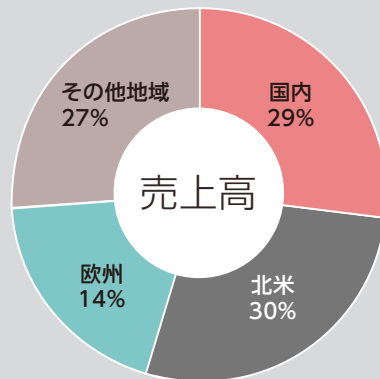


FINANCIAL HIGHLIGHTS

連結決算ハイライト



売上高地域別内訳



BUSINESS SUMMARY

セグメント別概況

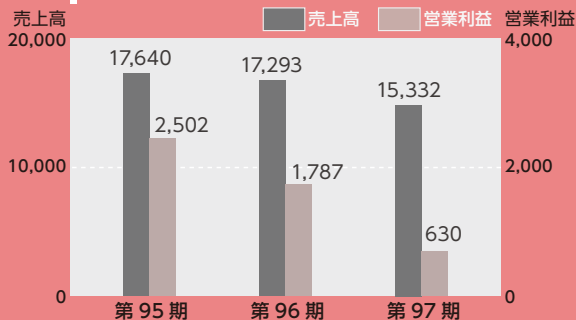
家庭用機器 事業

ミシン等の家庭用機器の製造・販売

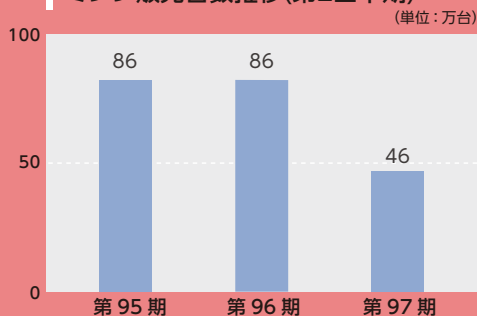


Continental M17

売上高・営業利益(第2四半期) (単位:百万円)



ミシン販売台数推移(第2四半期)



海外ミシン市場では、今期に投入したフラッグシップモデル「Continental M17」が北米、欧州、大洋州などの市場で受け入れられ、順調に販売を伸ばしました。また、国内ミシン市場においては、3年ぶりに開催された大型展示会への出展やSNSを活用した情報発信、幅広い世代に向けたワークショップ開催など継続的な需要喚起に取り組んでおります。

しかしながら、ロシア・ウクライナ情勢による経済への影響、国内外でのコロナ禍での巣ごもり需要からの反動減の影響も重なり、幅広い地域において低・中価格帯機種種の販売は停滞いたしました。

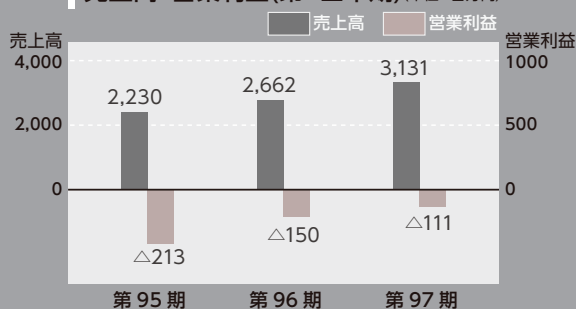
この結果、海外・国内ミシンの販売台数は46万台(前年同期比40万台減)、家庭用機器事業全体の売上高は15,332百万円(前年同期比1,960百万円減)、営業利益は630百万円(前年同期比1,157百万円減)となりました。

※当社の連結子会社間の吸収合併により、第96期以降の売上高・営業利益の算定方法を変更しております。

産業機器事業

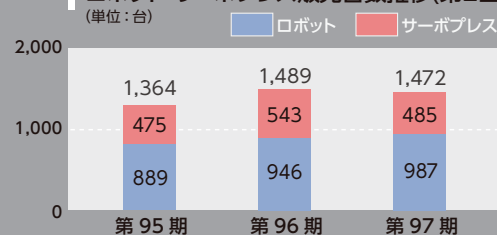
卓上ロボット・サーボプレス・ダイカスト鋳造品等の産業機器の製造・販売

売上高・営業利益(第2四半期)(単位:百万円)



ロボット・サーボプレス販売台数推移(第2四半期)

(単位:台)



産業機器事業におきましては、製造業を中心に設備投資が推し進められていることから、卓上ロボット・エレクトロプレス(サーボプレス)ともに需要は増加傾向となっております。しかしながら、半導体を含めた電子部品の納期遅延や原材料の高騰による製造コストの上昇など、生産面では厳しい環境が続きました。

ダイカスト鋳造関連事業におきましては、自動車関連を中心とした産業用ロボットメーカーからの継続的な受注により、好調に推移しています。

この結果、産業機器事業全体の売上高は3,131百万円(前年同期比468百万円増)、営業損失は111百万円(前年同期は150百万円の損失)となりました。

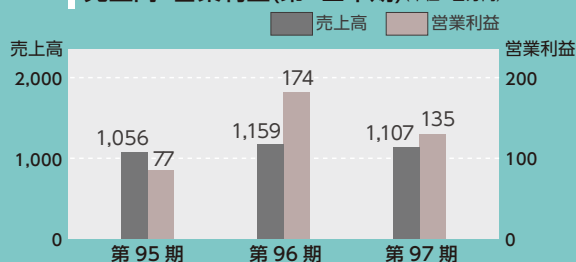


卓上ロボット(JR3000シリーズ)
カメラ搭載塗布仕様

IT関連事業

ITソフトウェア開発・情報処理サービス・システム運用管理の受託

売上高・営業利益(第2四半期)(単位:百万円)



ITソフトウェア開発や情報処理サービス、システム運用管理の受託等を行うIT関連事業では、デジタルトランスフォーメーション(DX)に取り組む企業が増加する中、主力のソフト開発事業において、リモート環境での意思疎通や品質管理の徹底による生産性の維持向上を図りました。しかしながら、前年に大型案件の売上計上があった影響等により、売上高は1,107百万円(前年同期比51百万円減)、営業利益は135百万円(前年同期比39百万円減)となりました。

連結財務諸表[要旨] FINANCIAL STATEMENTS

連結貸借対照表[要旨]

(単位：百万円)

区分		当第2四半期 2022年9月30日	前期 2022年3月31日
資産の部	流動資産	27,245	27,771
	固定資産	25,705	26,800
	資産合計 ①	52,950	54,572
負債の部	流動負債	11,679	12,897
	固定負債	7,971	8,247
	負債合計 ②	19,651	21,144
純資産の部	株主資本	22,737	24,495
	その他の包括利益累計額	9,697	7,980
	非支配株主持分	864	952
	純資産合計 ③	33,299	33,428
負債純資産合計		52,950	54,572

POINT

① 資産の部

流動資産は、商品及び製品の増加、現金及び預金の減少、受取手形及び売掛金の減少等により、前期末に比べ525百万円減少いたしました。固定資産は、土地の減少、有形及び無形固定資産の減価償却等により、前期末に比べ1,095百万円減少いたしました。

② 負債の部

流動負債は、未払法人税等の減少、短期借入金の減少等により、前期末に比べ1,217百万円減少いたしました。固定負債は、再評価に係る繰延税金負債の減少等により、前期末に比べ275百万円減少いたしました。

③ 純資産の部

利益剰余金の減少、為替換算調整勘定の増加等により、前期末に比べ128百万円減少いたしました。

④ 営業活動によるキャッシュ・フロー

法人税等の支払額1,359百万円、売上債権の減少等による資金の増減があり、697百万円の資金の増加となりました。

⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出、定期預金の払戻による収入等により、70百万円の資金の減少となりました。

連結損益計算書[要旨]

(単位：百万円)

区分	当第2四半期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	前年同期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで
売上高	19,675	21,224
売上原価	11,983	12,595
売上総利益	7,692	8,629
販売費及び一般管理費	7,030	6,820
営業利益	661	1,809
営業外収益	637	105
営業外費用	113	119
経常利益	1,186	1,795
特別利益	2	3
特別損失	1,520	4
税金等調整前当期純利益	△331	1,794
法人税等	568	579
非支配株主に帰属する 当期純利益	△83	47
親会社株主に帰属する 当期純利益	△816	1,167

連結キャッシュ・フロー計算書[要旨] (単位：百万円)

区分	当第2四半期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー ④	697
投資活動によるキャッシュ・フロー ⑤	△70
財務活動によるキャッシュ・フロー ⑥	△1,073
現金及び現金同等物の当期末残高	6,632

⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額481百万円、短期借入金の減少等により、1,073百万円の資金の減少となりました。

「JANOME REPORT 2022」を発行

当社では、10月に「JANOME REPORT 2022」を発行いたしました。

本レポートでは、財務情報と非財務情報をまとめ、当社グループの中長期的な企業価値向上に向けた事業戦略や ESG（環境、社会、ガバナンス）情報、当社の取り組みなどを詳しくご紹介しております。

当社ウェブサイト（IR 情報）：<https://www.janome.co.jp/ir/>



株主通信の発行について

期末の株主通信につきましては、株主総会招集ご通知と内容が一部重複していることから、発行を取りやめるとさせていただきます。

なお、第 2 四半期株主通信につきましては、当期より当社ウェブサイトへの掲載のみとさせていただきます。何卒、ご理解のほどお願い申し上げます。

コンピュータミシン「Epolku OVI」(エポルク オヴィ)を発売

表紙

2021 年に当社創業 100 周年を記念して「Epolku」を発売し、好評を博してまいりました。

そしてこの度、レトロなデザインはそのままに、ワンランク上の機能が付いた「Epolku」シリーズ第 2 弾の「Epolku OVI」を 2022 年 10 月 1 日に発売しました。

当社ウェブサイト（「Epolku OVI」情報ページ）：
<https://www7.janome.co.jp/epolkuovi/>



事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

基準日 毎年3月31日

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同連絡先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL：0120-782-031（フリーダイヤル）
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

公告の方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

公告掲載のURL <https://www.janome.co.jp>



当社ウェブサイト

株式のお手続き等についてのご注意

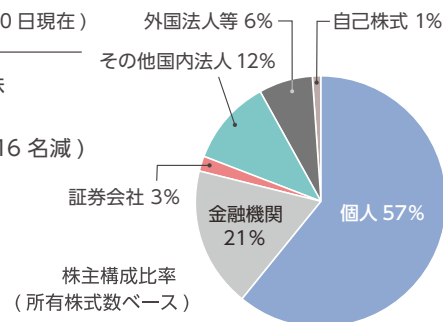
- 住所変更等、弊社株式に関するお手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。
- 特別口座の株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問い合わせください。

会社概要 (2022年9月30日現在)

商号 株式会社ジャノメ
英語表記 JANOME Corporation
本社 東京都八王子市狭間町1463番地
創業 1921(大正10)年10月
設立 1950(昭和25)年6月
資本金 113億7,300万円
連結従業員数 2,701名

株式の状況 (2022年9月30日現在)

発行済株式総数 19,521,444株
株主数 17,702名
(前期末比1,016名減)



株式会社ジャノメ

〒193-0941 東京都八王子市狭間町1463番地 / TEL：042-661-3071

UD
FONT